

昨年度の医療費 47.3 兆円 3年連続で過去最高を更新 高齢化やインフルエンザなどの感染症患者増で 9/3TBS ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/e42923d055b3dc0afcc3f4efab336b027a1b3126>



全国の医療機関に支払われた医療費が昨年度、概算で 47 兆円を超え、3 年連続で過去最高を更新したことが厚生労働省のまとめで分かりました。

厚労省によりますと、昨年度の医療費は概算で 47.3 兆円で、前の年度から 2.9% 増え、3 年連続で過去最高を更新しました。

そのうち、75 歳以上の医療費は 18.8 兆円で、前の年度から 4.5% 増えています。

厚労省は医療費が増加した理由として、高齢化などに加えて、子どもを中心にインフルエンザなどの感染症の患者が増えたことを挙げています。

一方で、主な病名が新型コロナと診断された人の入院や外来にかかる医療費はおよそ 4400 億円で、新型コロナの 5 類への移行や患者が減少したことから、前の年度から半分ほどに減りました。TBS テレビ

2023 年度の医療費は 47.3 兆円で過去最大 新型コロナの影響減少も対前年度比 2.9% 増

9/3(火) テレ朝ニュース

2023 年度に医療にかかった費用は 47 兆円を超え、過去最大になったことが分かりました。

新型コロナの医療費は大きく減少しましたが、厚労省は医療の高度化やコロナ以外の感染症などで医療費が押し上げられたと分析しています。

厚生労働省によりますと、2023 年度に病気やけがの治療で全国の医療機関に支払われた医療費は速報値で前年度から 1 兆 3000 億円増加して、47 兆 3000 億円でした。

3 年連続で過去最大を更新しています。

このうち、新型コロナに関わる医療費は 4400 億円で、5 類感染症に移行した影響もあり 2022 年度の 8600 億円から大きく減少しました。

一方で高齢化や医療の高度化に加え、インフルエンザなど新型コロナ以外の感染症の流行などで全体の医療費が押し上げられたと厚労省は分析しています。